

令和2年度  
(2020年度)

## 農業委員会事務局の取り組み実績

### 具体的な取り組み：農業委員会の円滑な運営

毎月の農業委員会総会における許可案件等について、法令に基づいた確かな審議を行うため、普段の調査・相談活動において、委員等と事務局職員との一層の情報共有化に取り組みます。

また、委員改選後速やかに、新たな農業委員及び農地利用最適化推進委員に対して、農業委員会の制度や業務等についての研修会を実施します。

実績	① 月1回農業委員会総会及び協議会を開催 ＜3条：58件、4条：34件、5条：80件、18条：24件、その他：302件＞ ② 7月20日に新任委員研修会を開催 ＜新任委員：7名（農業委員4名、推進委員3名）＞
説明	① 農業委員会総会における農地の権利移動や転用等の案件及び協議会における報告案件等について、委員等との調査・相談活動において情報の共有化を図り、法令等に基づき的確に審議を行いました。 ② 委員改選後の第1回総会・協議会終了後、「農業委員会業務について」を研修テーマに、農業委員会の主な活動業務と議案書などの各種送付書類について、事務局職員が説明を行いました。 また、10月2日に柏原市にて開催された、大阪府農業会議主催の地区別農業委員会研修会に、新任委員を含め13名の委員が参加しました。

### 具体的な取り組み：農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

準農家を目指す人等に対して農地銀行制度のPRを行い、農地貸借希望台帳の登録農地とのマッチングを進めます。加えて、農地所有適格法人（要件を備えた株式会社、農事組合法人、合名会社等）から、本市の圃場の利用希望があった場合を想定し、貸し手・借り手の両方が利用しやすい制度となるよう、農地貸借希望台帳登録申請書の様式整理を行います。

また、引き続き農業委員会のホームページに農地銀行の内容について掲載するとともに、市内農業者向け情報誌「農委だより」を発行し、農地貸借希望台帳の啓発・周知を図ります。

実績	① 農地銀行によるマッチング ＜利用権設定面積：新規設定19,426㎡、再設定46,542㎡＞ ② 農地銀行制度のPR及び農地貸借希望台帳の啓発・周知 ＜農地貸借希望台帳登録件数：新規（貸し手）11,572㎡、（借り手）1人＞ ＜農業委員会ホームページへ掲載：通年、「農委だより」の発行：2回＞
----	---

<b>説明</b>	<p>① 枚方市が実施した「ちょっと本気の野菜作り講座」を修了した準農家候補者2人とのマッチングが成立した農地も含め、農地貸借希望台帳への登載農地について利用権が設定されました。今後も地域の実態に応じた活動を展開することにより、農地のマッチングを進め、利用権の設定につなげます。</p> <p>② 農地所有適格法人の農地貸借希望台帳への登載申請はありませんでしたが、あらゆる機会を捉えて制度の啓発・周知を図るとともに、各種申請書等の様式については、今後も利用しやすい制度となるよう、随時見直しを行います。</p>
-----------	--

### 具体的な取り組み：農地適正管理システムの精度向上

的確な農地情報（農業者、所在、地番、面積等）の把握に努めるとともに、農地適正管理システム稼働前の農地転用に係る、許可・届出物件のデータベース化を進めます。

<b>実績</b>	<p>① 最新の農地情報の把握とデータの補正</p> <p>② システム稼働前の農地転用関係情報のデータベース化</p>
<b>説明</b>	<p>① 毎月総会終了後、各種データの補正を行うとともに、農家からの情報や関係機関からの通知など、農地情報を把握した後速やかに、各種データの補正を行いました。</p> <p>② システム稼働前に転用があった農地情報のデータベース化は完了しました。</p>